

ロイヤルサイクルチャイルドシート（フロント用） 取扱説明書

警告
表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったりケガをしたり製品がこわれるなどの恐れがあります。

警告

この表示の欄は取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。

警告

お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。
読まれたあとは大切に保管してください。

警告

自転車にサイクルチャイルドシートを取り付けてお子さまを乗せることにより、自転車のハンドル操作性や走行安定性が低下します。また、制動操作時に制動距離が長くなりますのでご注意ください。

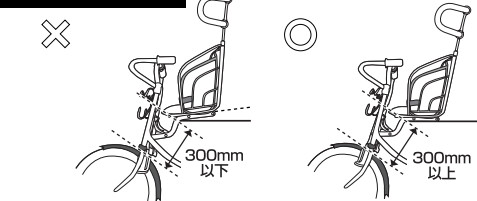
注意
事項

警告

①お使いになれるお子さまと取付可能自転車

- 使用適応範囲は2才以上で、体重15kg以下及び身長100cm以下です。
- 取り付け可能な自転車は車輪サイズが23.5インチ以上28インチ以下のシティ車・軽快車・実用車です。またダイヤモンド型フレーム等、フレーム形状によっては取り付けができない場合があります。
- チャイルドシート座面の前縁から前輪までの間が300mm以下になる自転車には、お子さまの足が前輪に巻き込まれるおそれがあり危険ですので、取り付けないでください。

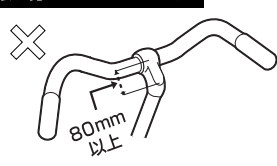
取り付けられない自転車



- 自転車のスタンドを解除してお子さまを乗せた状態で座面が水平にならない場合は取り付けられません。
- 座面が前輪まで300mm以下は取り付けられません。

- ハンドルの突き出しが80mm以上の自転車には取り付けできません。またハンドル形状によっては取り付けできない場合があります。

取り付けられないハンドル



- ハンドルステムの突き出し寸法が80mm以上の自転車には取り付けられません。また、ハンドル形状によっては取り付けできない場合があります。

- サイクルチャイルドシートの取り付けを禁止している自転車やハンドルには使用しないでください。
- スタンドを解除してお子さまを乗せた状態で、座面が水平になっていることを確認してください。
- 自転車に取り付けできるサイクルチャイルドシートは自転車1台につき1つです。2人のお子さまを乗せることは、道路交通法で禁止されていますので、絶対におやめください。
- 必ずロック付きの両立スタンドと併用ください。一本スタンドやロックの無いスタンドの自転車には取り付けないでください。
- 足の巻き込み防止のために、必ずフロントガードと併用してください。フロントガードの無い自転車は必ず取り付けでご使用ください。
- より安全にご使用いただくために、パーキングストッパー等、前輪固定機能付の自転車を使用してください。

- ②取り付け時（より安全にご使用していただくために、お買い上げいただいた販売店に取り付けてください）
- 取り付けの際、座面を水平にする必要があります。取り付け図を参考に、水平になる箇所で取り付けてください。
- ハンドルポストにカバーがついている場合には、カバーを取り外してから取り付けてください。
- 自転車のハンドルを上下させる必要があるときは、必ず販売店に相談してください。
- 自転車の前輪錠にお子さまの手が届かないように取り付けてください。
- ③ご使用时
- 使用するときはチャイルドシート（固定ネジ・セーフティフック）が確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- ハンドルの形状やフレームの形状によっては、ハンドルを切った際にチャイルドシートの足乗せがフレームに当たる場合がありますので、ハンドル位置やハンドルポストの高さを販売店で調節してください。
- お子さまは荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- ハンドルポストは限界線以上には上げないでください。
- サイクルチャイルドシートは直射日光をさけて駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。
- お子さまには必ず靴を履かせて使用してください。
- 必ずシートベルトを使用してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- お子さまの首にシートベルトがかからないように注意してください。
- お子さまがグリップをしっかりと握るようにしてください。
- お子さまにはヘルメットを着用させて使用してください。ヘルメットを着用させないで幼児座席に子供を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなります。また、運転者もヘルメットを着用されることをオススメします。
- お子さまを乗せるときには必ず正しい姿勢になっている事を確認し、特に足が車輪に巻き込まれる事の無いように注意してください。
- お子さまを乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子さまがけがを負う危険があります。
- お子さまが眠らないように注意してください。
- 自転車に同乗できるお子さまは一人です。また、使用できるお子さまの年齢と体重及び身長範囲を守ってください。
- お子さまが走行中に前輪錠を操作しないように充分注意してください。
- 傘を差しながらの走行はしないでください。
- 段差のある場所ではお子さまを乗せたまま走行しないでください。
- 使用にあたっては交通法規を守ってください。
- ヘッドレストは必ず適切な高さに調節してご使用ください。

取付図

①チャイルドシートをハンドルに取付ける

- 最初にハンドルフックの固定ネジをハンドルが入る幅まで2箇所とも緩めてからチャイルドシートをハンドルに引っかけた後、ハンドルフックの固定ネジをしっかりと締め付けてください。
- 固定ネジの先端にネジキャップを取り付けてください。



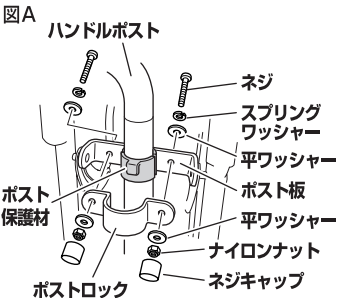
②ハンドルポストに固定する

☆図を参考にしてください。

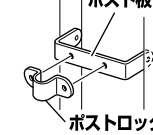
- ①座面を水平にする為にポスト板は回転式となっており、図Bと図Cのようにポスト板の位置を変えることで座面の角度を変えることが出来ます。
- ②ポスト板を回転させ図Bか図Cで、座面が水平になる位置でポスト板をハンドルポストに当ててください。
- ③ポスト板が当たるハンドルポスト部分にポスト保護材を取り付けてください。
- ④図Aのようにポストロックをポスト保護材のクリップ部に入れながら、ハンドルポストを挟むようにポスト板に取り付けてください。

☆ナイロンナットはスパナ(8mm用)で押さえ、ネジをプラスドライバーでまわし、締め付け固定してください。ナイロンナットは締め付けの途中で固くなりますが最後までしっかり締め込んでください。

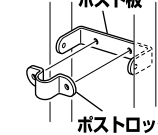
☆左右のネジがしっかり締まっているか最後に確認してください。



図A



図B



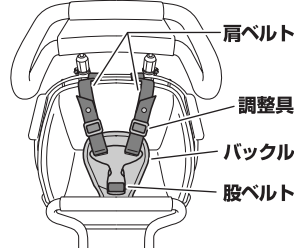
図C

一般的なハンドルステムの突き出し (約50mm)

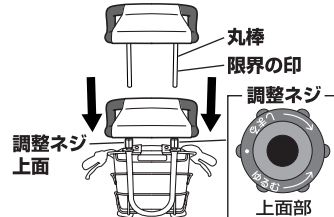
長いハンドルステムの突き出し (約80mm)

③シートベルトの使用方法

- ①お子さまの股の間に股ベルトがくるように着座させてください。
- ②肩ベルトの間からお子さまの頭部をくぐらせてください。
- ③股ベルトと肩ベルトを「カチッ」と音がするまでバックルを差し込んでください。
- ④肩ベルトの長さは調整具で調節してください。



④ヘッドレストを取付ける



- 調整ネジを「ゆるむ」の向きにまわして、緩めてください。
- 調整ネジ上部の穴に丸棒を差し込みます。
- ヘッドレストの高さを、お子さまの頭に合わせて、調整ネジを「しめる」の向きに回して固定してください。

警告

ヘッドレストの正しい高さ

- ヘッドレストは、お子さまの頭を守る大切な部品です。
- ①必ずお子さまの頭と同じ高さになるように調節してください。
- ②調節したら調節ネジを左右2カ所締め付けて固定してください。

適正な高さ



ヘッドレストが頭より低い

